

2020年度 関西外国語大学 自己点検・評価活動まとめ (含：大学院)

大学自己点検・評価委員会

1. 新たな内部質保証システムの確立について

本学は2019年度の(公)大学基準協会の第3期大学評価の受審結果もふまえ、2020年度に全面的な見直しを行い、新たな内部質保証システムを確立した。

【新たな内部質保証(自己点検・評価)システム】

2021年1月1日施行

2020年10月24日に内部質保証、自己点検・評価にかかる責任と権限を整理した「学校法人関西外国語大学内部質保証推進規程」を制定(これに伴い「関西外国語大学自己点検・評価委員会規程」「関西外国語大学自己点検・評価実施要項」を廃止)。その内容は、以下の通り。

- ① 理事会の下に新たに設置された内部質保証に責任をもつ大学評価委員会が自己点検・評価の基本方針、点検および調整、改善の管理・監督等を所管する。その下に大学の全学的自己点検・評価実施に責任を持つ大学自己点検・評価委員会、さらに各部局別の点検・評価に責任を持つ部局等自己点検・評価委員会が置かれた。
- ② 各部局等の自己点検・評価委員会が、所管分野の課題に対する点検・評価結果を取りまとめ、大学自己点検・評価委員会に報告、大学自己点検・評価委員会は改善事項を付して大学評価委員会に報告する。
- ③ 大学評価委員会は、改善意見を添えて理事会に報告、理事長が必要と判断した改善課題は、大学評価委員会を通じて当該部局に改善指示が行われる。

※ なお、新しい内部質保証システムについては、「学校法人関西外国語大学内部質保証システム概念図」(文末)を参照のこと。

2. 2020年度 大学自己点検・評価活動について

2020年度の自己点検・評価活動にあつては、各部局が設定した課題の進捗に対する点検・評価に加えて、認証評価結果をふまえた改善・向上についても点検・評価を行った。

今年度は、新型コロナウイルス感染症(以下「新型コロナ」とする)の影響によって年度当初に行う課題集約を延期し、年度課題とその到達点のまとめを2020年12月段階で合わせ集約した。

各部局等自己点検・評価委員会の点検・評価の報告は、各学部・学科単位、また大学学長が指定する各委員会、附属センター・研究所、事務部門各部署から提出された「各部局等自己点検・評価報告シート」をもって充てる。

なお、認証評価結果をふまえた改善・向上の状況については、「2019年度認証評価をふまえた改善状況報告集約シート」(別途報告)にまとめた。

(公) 大学基準協会大学評価に対する「改善報告書」の提出については、2023年7月末日を最終期限としている。その際、改善状況について個別の報告を作成する義務が課せられている「改善課題6項目」のほか、実地調査に際し本学が改善を表明した課題など「大学評価後の改善に向けた全般的な取り組み状況」について文書で報告する必要があり、積極的な改善状況についてそこへ反映する準備を引き続き進める。

3. 2020年度の改善・向上の取組みの概要

大学院研究科、大学各学部の学科自己点検・評価委員会及び部局別自己点検・評価委員会から報告された2020年度の改善・向上の主な取組みは、次の通り。本年度は、継続する新型コロナ禍への厳しい対応の中、次のような改善・向上の取組みが行われた。

<2020年度の大学としての主な改善点>

○全学共通

- ・新型コロナ禍に対し全学的・機動的に対応するため、理事長を中心とした「新型コロナ緊急対策会議」を設置
- ・新型コロナ禍における授業オンライン化対応
- ・オンライン授業の質的向上を図るFD
- ・授業評価のオンライン対応
- ・新型コロナ禍での語学力検定のあり方(u-CAT受講、HSK学外受験等)
- ・留学資格審査、選考試験の見直し
- ・新型コロナ禍におけるオンライン活用の学生指導

○大学院

- ・大学院各学位に対応する学位授与方針策定
- ・大学院各学位に対応する教育課程編成・実施の方針策定、授業科目再編
- ・「関西外国語大学大学院における研究指導などにかかる運用方針について」作成
- ・「学位論文の評価基準について」作成、大学院学生周知
- ・「研究の基本方針」策定
- ・「論文作成における不正行為防止等のガイドライン」作成
- ・大学院入学者確保につながる「関西外国語大学大学院主催英語教員のための夏期リフレッシュャーコース」の見直し

○各学部・学科

- ・英語キャリア学部における英語キャリア基礎力、留学成果検証法の検討
- ・英語キャリア学部ゲストスピーカー制度の検証
- ・外国語学部新カリキュラムの検討開始(必修科目・コース制見直し)

- ・英語国際学部新カリキュラム見直しの実施と要員体制、規程等整備
- ・英語国際学部教育課程上の留学代替措置(開講増等)
- ・留学生別科オンライン対応と双方向交流型授業(COIL=Collaborative Online International Learning の開発)

○各委員会

- ・オンライン授業の質的向上を図る FD
- ・「学生支援の基本方針」の策定
- ・新型コロナ禍における課外活動支援、学友会活動支援（ガイドライン、マニュアル設定等）
- ・「学生生活・学生活動全般の支援向上策」、「新奨学金の検討」、「社会・地域連携活動充実方策検討」、「学内規程及び事業評価手法検討」4 課題の方向性を整理（学生部委員会）
- ・オンラインを活用した国際交流活動（インターカルチュラル・エンゲージメント・プログラム：IEP）
- ・新型コロナ禍におけるオンライン活用の学生指導・留学資格審査、選考試験の見直し

○研究所、センター

- ・図書館・ラーニングcommons等について小委員会設置
- ・授業外学習支援「Learning Village」の立ち上げ
- ・新型コロナ禍における教育実習代替措置、教員採用試験支援対策

○事務部門

- ・「オンライン授業受講等のための環境整備支援金」の学生への支給
- ・新型コロナ禍における事務効率化・システム化、マニュアル整備
- ・教員採用指針の策定、昇任制度見直し、特任・非常勤給見直し
- ・職員研修制度充実（SD 活動、新人育成プログラム、オンライン研修）
- ・勤怠管理システム導入
- ・中宮キャンパス大規模改修工事、LED 照明活用、携帯電波状況改善
- ・質保証システムの再構築、IR 活動の課題整理
- ・オンライン授業対応（Blackboard クラウド化、Zoom 導入、動画配信基盤 Kaltura の LMS 連携）
- ・教育課程見直しに学生の学習時間、休退学者の修得単位数等のデータ分析支援
- ・高等教育修学支援制度の円滑な導入
- ・新型コロナ禍における学生相談体制改善
- ・派遣留学プロモーション強化
- ・GLOBAL COMMONS 結—YUI—における RA 実習の充実とマニュアル化
- ・編入・就職ガイダンスのオンライン対応、イベント案内通知メール送信
- ・無線環境改善、情報セキュリティ関連規程整備検討
- ・研究活動支援強化（科研「若手研究」申請支援、科研説明会オンライン化等）
- ・新型コロナ禍における入試広報対応（オンライン活用等）

4. 2020年度の自己点検・評価をふまえ2021年度に取り組むべき諸課題

2021年度に全学的観点で取り組むべき主要課題は以下の通り。

- ① 継続する新型コロナ禍に対応する授業運営および管理運営（ICT環境の強化等）
- ② 中長期的な視野に立つ海外留学制度等国際交流の再構築
- ③ 各学部・学科の特色を一層発揮した学修者本位の教育の実施
- ④ 入試、教学、就職を一体化させた学生支援体制の強化
- ⑤ インターンシップの推進など教学面と連携した学生の進路の多様化、キャリア形成・就職活動支援プログラム FEP（Future Engagement program）の構築
- ⑥ 少子化の中での学生募集の強化のための戦略的広報の展開
- ⑦ 教学・管理運営を通じた内部質保証システムの実質化

以 上

学校法人関西外国語大学内部質保証システム概念図

